

Home > LOVE SPORTS Q > 九州のJリーグotto! > 川崎のJ1昇格を支えた守護神の今 引退後社長に「『吉原慎也』で生きる人生にトライしたい」 縁もゆかりなかった地で縁に恵まれ



現役時代の吉原さん (川崎フロンターレ提供)



Sports otto!

川崎のJ1昇格を支えた守護神の今 引退後社長に「『吉原慎也』で生きる人生にトライしたい」 縁もゆかりなかった地で縁に恵まれ

九州のJリーグotto!

アスリートたちのセカンドキャリア

向吉三郎

2024.02.19 17:43 (Updated:2024.02.19 20:13)



#川崎フロンターレ #柏レイソル #ジュビロ磐田 #横浜Fマリノス #GK #吉原慎也



向吉 三郎 / Director

現役時代は縁もゆかりもなかった九州の地で、縁に恵まれて仕事を任されている。Jリーグの川崎などでプレーした吉原慎也さん（45）は福岡を拠点に建物の改修工事を専門とするグローバル・エージェンシー・コーポレーション（GAC）を経営。年度末の今は15以上の工事を依頼されて九州を飛び回る日々だ。



現場に立つ吉原さん

2004年に当時J2だった川崎のGKとして7戦連続完封を果たすなどしてJ1昇格を支えた吉原さんは10年に柏で引退。シーズン途中の7月に発表した。

当時32歳。「肩の上がりも悪くて、膝も悪くて。だましましやっていたんですけど、（股関節に痛みが出る）グロインペイン（症候群）になって。このけがは（治るのが）長くなるのは分かっていたので」

移籍期間が終わる直前だったこともあり、チームの状況も思い、「他の人を取ってください」と契約解除を自ら申し出た。当時の柏監督だったネルシーニョ氏に「引退したら社会に出ると決めている」と申し出ると「シンヤは腹が決まっている」と引退を認めてくれたという。

茨城県出身で日立工高から横浜Mに加入。新潟、川崎、東京V、磐田でもプレーした14年間のプロ生活。30歳になるころから残りの長い人生を考え始めた。Jリーガーとして他の世界の人たちとの交流も広げる中で「俺がサッカー選手じゃなかったら、付き合っているのか」という思いも浮かび始めたという。

「サッカー選手として30歳はベテランだけど、社会ではまだまだ若い。人間『吉原慎也』で生きる人生にトライしたい」

建築関係の仕事は引退後に知人が社長の会社に「たまたま入った」のがきっかけ。現場でも働き、「サッカーだと2時間（の練習）でスパッと（終わる）じゃないですか。（工事の現場は）朝から晩まで地道にやる」と毎日、へとへとになるまで体を動かし、仕事を覚えた。ただ、そこで気付いたこともある。

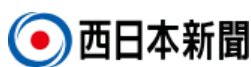
次ページに工事現場とサッカーの共通点

1

2

次のページ

ホーム | 西スポWEB OTTO!とは | 運営会社 | WEB広告について | 情報提供・相談&依頼 | 記事・写真の利用案内
| その他のお問い合わせ



西日本新聞me | 西スポレースサイト | ファンファン福岡 | 西日本新聞セレクトモール | 西日本新聞 WE START

西スポWEB OTTO!



個人情報保護方針 | サイトポリシー | アクセスデータの取得について

© 2023 The Nishinippon Shimbun.

Home > LOVE SPORTS Q > 九州のJリーグotto! > 川崎のJ1昇格を支えた守護神の今 引退後社長に「『吉原慎也』で生きる人生にトライしたい」 縁もゆかりなかった地で縁に恵まれ



現場で指示を出す吉原さん



Sports otto!

川崎のJ1昇格を支えた守護神の今 引退後社長に「『吉原慎也』で生きる人生にトライしたい」 縁もゆかりなかった地で縁に恵まれ

九州のJリーグotto!

アスリートたちのセカンドキャリア

向吉三郎

2024.02.19 17:43 (Updated:2024.02.19 20:13)



#川崎フロンターレ #柏レイソル #ジュビロ磐田 #横浜Fマリノス #G K #吉原慎也



「現場監督が適材適所でフォーメーションを組んで働く。工期があって、それがサッカーだったら90分、現場は2カ月、3カ月（の工期）のそこに向けてみんなが組織で動く。サッカーに似ている」

営業も経験した。「ワードもエクセルもやったことがない。一番は難しかったのは言葉遣いですね。サッカーしかやってきてなかった人間が一企業の社員として一からプレゼンをしないとイケないわけですから」

そんな時、その会社の九州事業部の立ち上げに携わることになり、一から開拓営業を託された。「自分のことを誰も知らない。フロンターレの名前は一切通用しない」という厳しい地で地道に粘り強く仕事を少しずつ増やしていったという。

九州事業部が軌道に乗り始めたころ、務めていた会社が業種を変えることになった。「そうすると、困るお客さんがいるわけです」。九州の人の温かみに触れてきた吉原さんは、経営者としてそのまま仕事を引き継ぐことを決断。国家資格の一級建築施工管理技士も取った。

生きたのはサッカー選手、GKとしての精神だった。「何か一つのことを精いっぱい突き詰めて頑張れたという経験は今も自信になってます。特に自分は絶対にミスが許されなく、点を取るスポーツだけに自力では勝利することが困難なGKだった。そういうメンタル面と経験で経営者として頑張ってます」

九州に根を張って10年近くがたった。仕事も順調になり、吉原さんは「今だったらできる」と福岡市のクラブチーム・ワンソウルC福岡や日本経済大（福岡県太宰府市）の女子サッカー部でGKの指導をしている。「サッカーの楽しさを伝え、組織力や人間力をつけてもらうことを心がけてます」

ワンソウルC福岡のU-18は町クラブの全国大会の常連になった。指導する選手がPK戦でシュートを止めて全国切符を決めたことがある。「指導した選手が、うれし泣きしてくれたんですよ。この選手の人生だけでも何か貢献できたかなと思いました」。サッカーを捨てたセカンドキャリアで、サッカーが生きている。（向吉三郎）



2016年5月に川崎フロンターレでOB戦に招かれてプレーする吉原さん（川崎フロンターレ提供）



[西日本新聞me](#) | [西スポレースサイト](#) | [ファンファン福岡](#) | [西日本新聞セレクトモール](#) | [西日本新聞 WE START](#)

西スポWEB OTTO!



[個人情報保護方針](#) | [サイトポリシー](#) | [アクセスデータの取得について](#)

© 2023 The Nishinippon Shimbun.